

# 竹田警察署協議会

## 第1回会議の開催状況

### 第1 開催月日

令和6年6月21日（金）

### 第2 出席者

公安委員

協議会 委員 5名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備課長 6名

### 第3 議事の概要

#### 1 管内治安概況説明

警察署から

- ・管内治安概況

について説明がなされた。

#### 2 諮問事項について

警察署から

- ・特殊詐欺を含む犯罪抑止対策
- ・交通事故防止対策

を諮問事項とすることについて説明がなされるとともに、取組状況等についても説明がなされた。

#### 3 諮問事項についての意見、質疑応答等

(1) 委員から「パトカーが町を走っている姿を多く見る様になった。ドライバーは身が引き締まる思いがして、あおり運転や交通違反の抑止に繋がると思うので積極的にパトロールを行って欲しい」旨の意見がなされ、警察署から「見せる・見える・呼びかける活動を継続していきたい」旨の説明がなされた。

(2) 委員から「押しボタン式信号で、ドライバーが赤信号に気づかず通行する箇所があるが、何か対策はないか」旨の質問がなされ、警察署から「信号の視認性を確認し、見えにくい等の問題があれば改善したい」旨の説明がなされた。

さらに、委員から「市街地の狭い道で速度を出す車があり、子どもの歩行に危険があると感じている」旨の意見がなされ、警察署から「交通の状況を確認して、啓発や取締りなど対応していきたい」旨の説明がなされた。

(3) 委員から「信号のない横断歩道で停車する車が少なく感じる。渡る際は手を挙げるなどすると停車するが、地域住民からは取締りを強化して欲しいという声を聞いた」旨の意見がなされ、警察署から「警察官が姿を見せる取締りを行うなど、状況が改善するよう対策を行いたい」旨の説明がなされた。

(4) 委員から「観光地付近の一時停止規制がなされた丁字路で、普段の交通量であれば問題なく通行できるが、観光シーズンで交通量が多くなると、一時停止後に車が進むことができない状態になることがある。改善できないか」旨の意見がなされ、警察署から「交通量が多いシーズンはパトカーによる巡回を増やすなどの対策を行いたい」旨の説明がなされた。

(5) 委員から「岡城劇団や歩行シミュレータなど、もっと市民に周知したらよいのではないか」旨の意見がなされ、警察署から「現在訪問している老人向けサロンだけでなく、学校等でも活動ができないか確認し検討したい」旨の説明がなされた。

(6) 委員から「いわゆる電柱ポリスやパトカー看板、パトランプの設置が増えれば、速度抑止効果があるのではないか」旨の意見がなされ、警察署から「電柱ポリスは警察本部に在庫がないか確認し、効果的に使用したい。また、パトカー看板やパトランプについては、数を増やせないか、関係各所に働きかけを行いたい」旨の説明がなされた。